

有秋中だより

平成31年3月6日 第6号
発行責任者 有秋中学校長 地引 等
電話 66-1066

有秋中生徒の活躍

有秋中だより第5号発行後も、各種大会・コンクール等で多くの素晴らしい成果を上げることができましたので、その主な結果をお知らせします。

吹奏楽部

第44回千葉県アンサンブルコンテスト 銀賞 打楽器四重奏

第32回千葉県吹奏楽個人コンクール安房上総地区予選

長田朋華(トランペット) 銀賞 圓角彩姫(トロンボーン) 銀賞

平野菜月(サクソフォーン) 銀賞 久米舞菜花(クラリネット) 銅賞

女子バスケットボール部 第30回積田杯争奪中学生バスケットボール大会 準優勝

男子バスケットボール部 第3回CBACUP in Narashino U-15 男子の部 準優勝

バレーボール部 第50回市民体育大会中学校バレーボール1年生大会女子

有秋・ちはら台南中学校 準優勝 県大会出場 1回戦惜敗

野球部 第19回千葉日報杯争奪千葉市近隣中学校選抜野球大会 3位

ソフトテニス部 高体連第一地区研修大会(男子個人)

第二位 師資田・河村ペア

全国図書館を使った調べる学習コンクール 小倉桃実 奨励賞

市原市小中学校技術家庭科作品展覧会

入選 田中宏輝 石川慶汰郎 今井優希 秋元美彩

宮倉麻緒 吉田美波

市原市小中学校書き初め展覧会

森田結衣 書写部長賞 小倉桃実 金賞 久米舞菜花 銀賞 藤原さくら 銅賞

吉田七穂 銅賞 佐原花音 銅賞 吉田美波 銅賞 加藤心花 入選

和賀さくら 入選

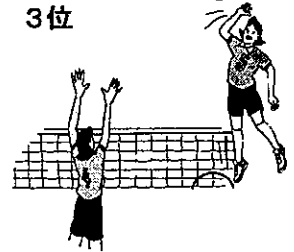
千葉県小中学校書き初め展覧会

千葉日报社賞 小倉桃実

書星会賞 森田結衣、吉田七穂、鎌田祥吾、加藤心花、佐原花音、長田朋華、

金子瑠奈、平野菜月、鈴木敬一郎、加藤朱里、

山口華怜、藤田慶次、羽賀凜月、宮倉麻緒、吉田美波



後援会および町会の皆様に感謝

今年度、後援会費が 625,603円集まりました。お骨折りくださった後援会の方々、町会長の方々、そして協力してくださった町会の皆様に心より感謝申し上げます。いただいたお金は、生徒のために有意義に使わせていただきました。主な用途は、各種大会・発表会・県大会出場のバス代、タクシー代や学校の環境整備費などです。

ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

保護者アンケートの結果

H30年12月に行われた保護者アンケート、248名の集計結果です

平成30年度 学校評価 保護者アンケート		Aの割合 (そう思う)				Bの割合 (だいたいそう思う)				Cの割合 (あまり思わない)			
項目	番号	1年	2年	3年	全校	1年	2年	3年	全校	1年	2年	3年	全校
お子様について	1	54	44	60	158	25	24	29	78	4	2	5	11
	2	35	31	46	112	38	33	43	114	6	4	4	14
	3	14	16	33	63	35	35	40	110	32	19	20	71
	4	50	43	73	166	28	25	20	70	4	3	1	8
	5	16	13	34	63	34	37	43	114	28	20	16	64
	6	40	37	49	126	32	22	35	89	10	11	8	29
	7	21	19	35	75	42	37	45	124	19	14	14	47
学校運営	8	33	35	44	112	44	30	43	117	4	4	4	12
	9	21	24	32	77	49	34	51	134	7	6	4	17
	10	18	21	30	69	49	27	46	122	6	10	6	22
	11	38	36	48	122	46	34	45	120	2	1	0	3
	12	23	26	37	86	51	35	46	132	5	6	5	16
学習指導	13	27	26	45	98	48	34	40	122	2	2	3	7
	14	21	23	24	68	50	31	53	134	7	4	8	19
	15	13	18	20	51	47	32	48	127	14	8	14	36
	16	10	18	18	46	39	35	54	128	22	10	13	45
	17	15	19	16	50	45	33	52	130	11	4	10	25
生徒指導	18	15	17	31	63	56	37	47	140	5	4	5	14
	19	26	24	33	83	43	31	46	120	6	4	6	16
	20	23	17	31	71	47	33	48	128	5	6	5	16
健康安全	21	21	17	31	69	48	30	45	123	1	5	7	13
	22	31	25	37	93	45	38	48	131	5	3	3	11
	23	21	22	26	69	40	33	45	118	5	3	3	11
	24	20	16	28	64	45	30	44	119	6	5	3	14
進路	25	9	17	45	71	39	34	39	112	13	10	8	31
	26	9	19	40	68	39	29	46	114	12	7	3	22
特活環境	27	21	25	45	91	54	37	40	131	4	1	1	6
	28	27	24	42	93	48	32	44	124	3	4	5	12
	29	19	23	44	86	51	38	37	126	6	1	4	11
環境	30	23	24	42	89	46	39	41	126	6	3	2	11
	31	22	25	42	89	49	36	43	128	5	4	2	11
	32	31	32	50	113	41	31	38	110	5	1	0	6

- ※ 数字は人数を示します。評価で「わからない(D評価)」という項目がありましたが、スペースの関係で載せていません。よって数字を合計しても248になりませんので、ご了承ください。
- ※ 一番割合の多い数に○印をつけてあります。

保護者アンケートの意見について

アンケートにご協力、ありがとうございました。

いただいたご意見の中から全体に関わるようなものについて、取りあげさせていただきました。学校として、改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。

1, 学校への感謝の意見

- ① いつも子どもの気持ちを最優先に考えていただき、子どもも先生のことを信頼しています。心の支えになると思います。ありがとうございます。
- ② 学校行事のどれを見ても生徒達のまっすぐな一生懸命さに感心させられます。同時に先生方のご指導が熱心であることも伝わってきます。
- ③ 難しい世代、先生方の日頃のお力添え、感謝しております。学校に対する理解は自分がまだまだ足りていないのではないかと、反省も思うところです。やはり小学校と違って行く機会が少ないのも見えてこない所かと思えます。

2, 学習面について

- ① いつも大変お世話になっております。家庭学習が定着せず、悩みです。宿題の提出や量に関してもう少し厳しくしていただいて構いませんので、よろしくお願いします。
- ② 1pノートも学習に取り組む方法がわかっていない子どもにとっては、難しい課題だと思います。

→ 家庭学習については、アンケートNO5「Cあまり思わない」が64名からも推察される通り、多くの保護者の方が懸念されています。学校としても、学年や担任の取組として、強化していきたいところです。家庭学習の内容や方法として考えられることは、

- A 英単語や漢字を発音しながら、ノートに書いて覚える。
- B 数学の計算の仕方や公式や定理などをノートに書いて知識として定着させる。計算などを解きながら、自分はどこまでわかっていて、どこからわからないのか、をつかむと、先生方に質問しやすくなる。
- C 理科や社会は、授業の復習を中心に、まとめた内容をもう一度1Pノートに書き写しながら頭に入れていく。(きれいに書いただけで満足しない)
- D 各教科のワークやプリントの見直しなどで、その日の復習を確実に行う。
- E Y検対策をノートで行う。
- F 日課表の順番通り、教科の復習をすすめる。
- G その日の授業の中で、自分が一番やりたいな(やったほうがいいな)と思う教科から、優先順位を決めて取り組む。
- H できれば1週間の復習を土・日で行う。
- I テスト前にもう一度総復習を。(テスト対策計画に従って進める)などです。

いづれにしても、その子に応じた内容や方法を見つけること(学習法の確立)が大切です。また帰宅後、一番最初に机に向かうことができる子は、学習習慣がつきやすいです。机の上が整理整頓されていることも学習環境として整えるとよいと思います。

宿題の量ですが、塾に通っている生徒も多数おり、そちらの宿題に追われて睡眠時間も十分に確保できない現状がありますので、対応が難しいところです。

これを機会に「なぜ勉強するのか」「なんのために勉強するのか」をご家庭で話し合うのも意識を高め、実行することにつながるのではないかと思います。

(参考文献:「手紙屋」蛍雪篇 喜多川泰 「君たちはどう生きるか」吉野源三郎)

3, 生徒指導

- ① 生徒指導をどんなタイミングで実施されているか、保護者としては不透明かな?とは思っています。

→ 生徒指導は生徒と教師が接している全ての場面で展開されています。授業中、朝・帰りの学活、休み時間、給食の時間、清掃、係・委員会活動、部活動、体育祭や有秋祭などの各行事、です。人としてあるべき姿や集団生活のルール、仲間

を尊重する態度など、子ども達の活動を見守りながら、良い点を褒めたり、改善点を指摘しながら、成長させています。その際に、生徒に関する情報交換や連携を図りながらすすめています。問題行動があった時には、特に指導のチャンスととらえ、情報収集を速やかに行い、学級担任、学年主任、生徒指導主任を中心に、学年体制、学校体制で取り組んでいます。必要に応じて家庭連絡、家庭訪問、学校への保護者召喚を行います。

成長過程にあり、未熟な子どもたちに、きちんと考えさせ、同じ過ちを起ささせぬことを目指して指導しています。ここで大切なポイントは、学校と保護者との共通理解です。子どもを導いていくのは、その子に関わる周りの大人達の責任です。

学校の子ども達への思いをご賢察いただき、子ども達の未来のためにご理解・ご協力いただけたら、幸いに思います。

4. 安全面について

① 自転車の変更になった通学路、実際に立って確認していただけると助かります。道路もせまく、東小脇へ入る所も危なっかしいので、朝、少し指導していただきたいです。

→ 早速、このご意見をいただいてから、学校長や生徒指導担当が状況確認と指導に行っています。また該当者を集め、教頭から注意喚起をしました。テスト期間にも教員を配置し、安全確保に努めています。今後も継続指導して参ります。

② 自転車通学をしている生徒（赤いシールの自転車）が道路を斜めに渡ってきたり、赤信号で横断歩道を走ったりと、危険な生徒を多く目にします。男子もそうですが、女子が危ない行動をとって、その後ニヤニヤ笑っている姿を見て、保護者として運転者としてとても怖いです。中学生という自覚をもっていける様、声かけが大切だと感じます。

→ 通学時危険行為に関しては、ことある度に学級担任や安全指導担当から繰り返し指導していますが、残念ながら危険行為がなくなるのが現場です。今後も粘り強く学校としても指導していきたいと考えています。各ご家庭におかれましても、休日の自転車の乗り方を含めて、ご指導いただけたらと思います。取り返しのつかない大きな事故や怪我の未然防止に努めていきたいと考えています。危険行為を見かけたら、まずその場で子どもたちに、できれば声をかけていただき、学校に連絡してください。

いただいたお声を含め、これら保護者アンケート結果は、私たち教職員にとって貴重な反省材料であり、生徒達の力を伸ばす原動力となります。次年度に向けて子供たちのためにより良い教育ができるよう検討・改善を重ねてまいります。

通学路安全確保ボランティアの募集

保護者アンケートにもありました通り、有秋中学校の安全指導の大きな課題として、通学路安全確保があります。そこで、保護者の皆様を含め、地域の皆様から通学路に立って安全を見守っていただけるボランティアを募集したいと思います。各小学校区で、危険区域とされる場所に、朝、6:30~7:30（時間は都合の良い時間で）を目安に参加していただくと大変有り難いです。町会長連合会などにも依頼していきたいと思っております。参加していただける保護者の皆さんや地域の皆さんがおりましたら、まず、学校までご連絡ください。

連絡先 有秋中学校 教頭まで TEL 66-1066